

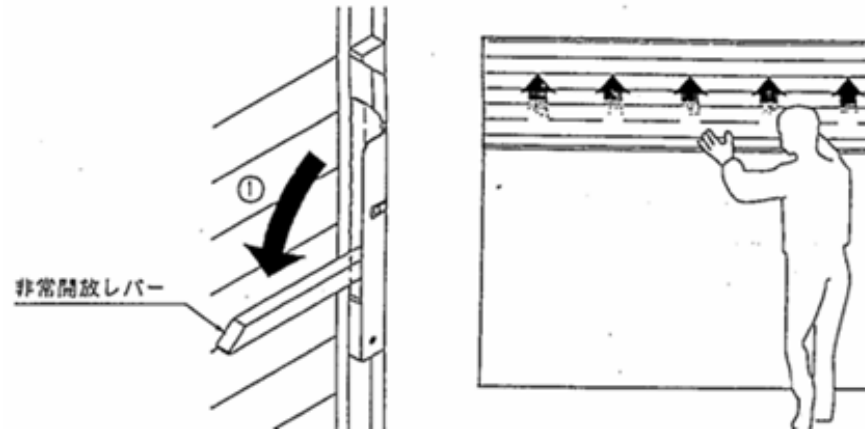
電動シャッター 手動開閉操作方法(三和シャッター製)

■年代:1996~2001

※閉まった状態、および作動中で
停電した場合、非常開放レバー
を操作しないと、シャッターは
手動で動きません

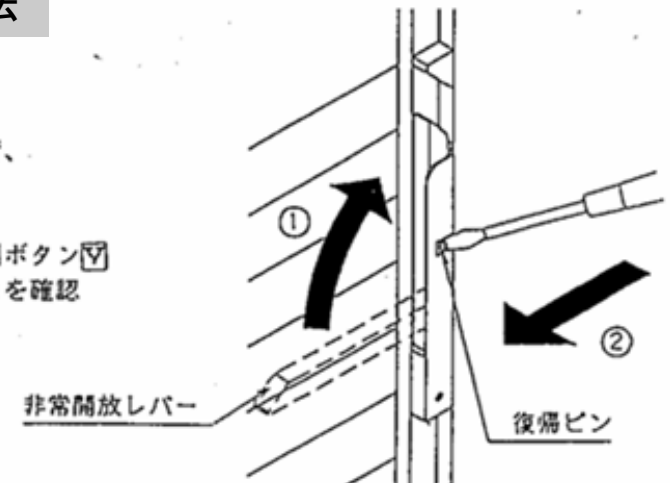
■非常開放装置の操作方法

- ① サッシ障子を開きガイドレールに
ついている非常開放レバーを水平
になるまでたおします。
- ② 避難できる高さまでシャッターカーテン
を手で引き上げて脱出します。



■非常開放装置の復帰方法

- ① レバーを元の位置にもどします。
- ② 復帰ピンをマイナスドライバーなどで、
矢印の方向に押し下さい。
- ③ 操作スイッチの開ボタン A または、閉ボタン V
を押してシャッターが正常に動くことを確認
して下さい。



電動シャッター 手動開閉操作方法(三和シャッター製)

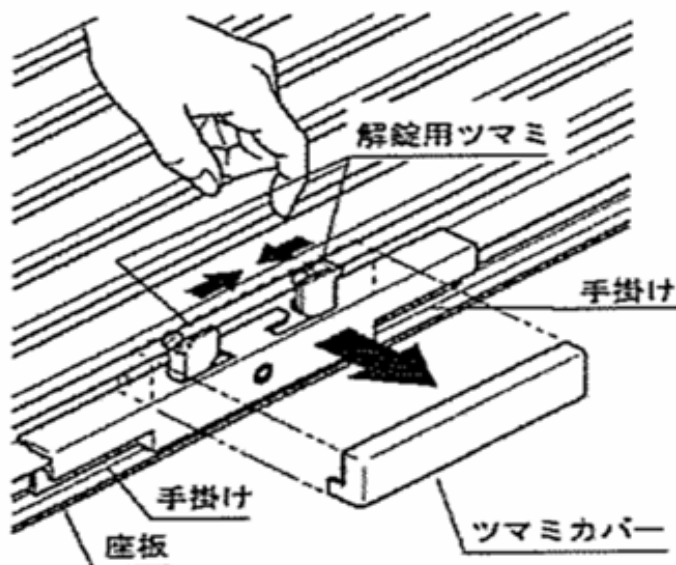
■年代:2001~2005

※作動中で停電した場合、シャッターは手動で動かすことができますが、閉まった状態では解錠する必要があります。

■開ける場合

- ① 座板ラッチ部に付いているつまみカバーを手前に引いて外してください。
- ② 座板についているつまみを中央に引き寄せて鍵をあけ、片手を手掛けに掛けて引き上げます。
- ③ シャッターが水切板より5~10cm程上がったところでつまみから手を離し、両手にて座板中央部を持ち、ゆっくり引き上げてください。

※20kg程度の力で操作可能です。
(シャッターのサイズによって異なります。)



■閉める場合

- ① 両手を座板中央部に掛けて、ゆっくりと引き下げてください。
※20kg程度の力で操作可能です。
(シャッターのサイズによって異なります。)
- ② シャッターを一番下まで押し下げると自動的に鍵が掛ります。
- ③ 全閉時には、必ず施錠状態になっていることを確認してください。

注1) 操作後はつまみカバーを元のように戻してください。

注2) 手動操作を行った場合は、シャッターカーテンの巻がみだれる可能性がありますので、通電後は1度電動でシャッターを開閉して下さい。

電動シャッター 手動開閉操作方法(三和シャッター製)

■年代:2005~2006

※閉まった状態、および作動中で停電した場合、シャッターは手動で動かすことができます。

■開ける場合

座板錠が解錠状態になっていることを確認して、両手を手掛けに掛けて、ゆっくりと引き上げてください。
※10~20kgf 程度の力で操作可能です。
(シャッターのサイズにより異なります)

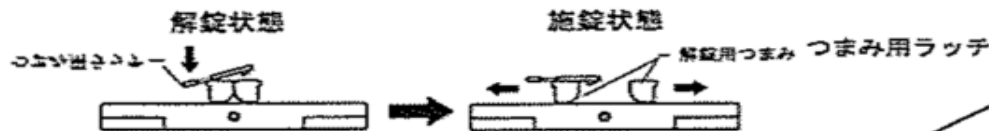
■閉める場合

両手を手掛けに掛けて、ゆっくりと引き下げてください。
※10~20kgf 程度の力で操作可能です。
(シャッターのサイズにより異なります)

◆ 座板錠の操作方法

①施錠方法

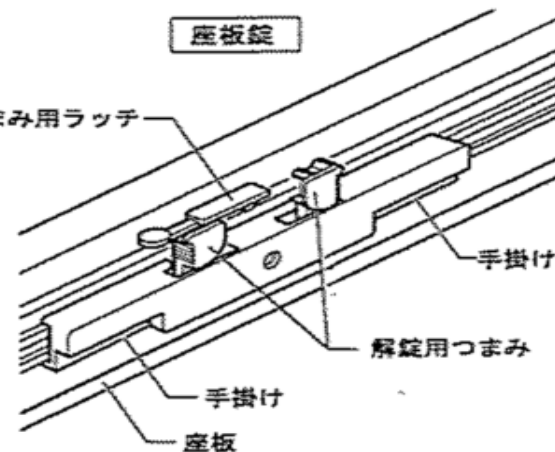
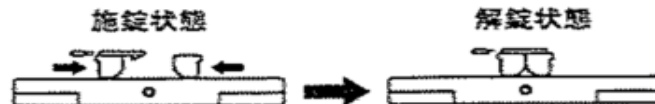
シャッターが全閉状態の時、つまみ用ラッチの左端を下方に押し、解錠用つまみが開いた状態になると施錠されます。



- ・シャッターが全閉状態にないと施錠はできません。
- ・本製品は電動開閉ですが、座板錠は自動的に施錠されません。

②解錠方法

解錠用つまみを中央に寄せると解錠状態になります。シャッターの開閉操作をする時は、かならず解錠状態にしてください。



電動シャッター 手動開閉操作方法(三和シャッター製)

■年代:2006~2009

※閉まった状態、および作動中で停電した場合、シャッターは手動で動かすことができます。

■開ける場合

錠が解錠状態になっていることを確認して、手掛け部をゆっくりと引き上げてください。
※10~20kgf程度の力で操作可能です。
(シャッターのサイズにより異なります)

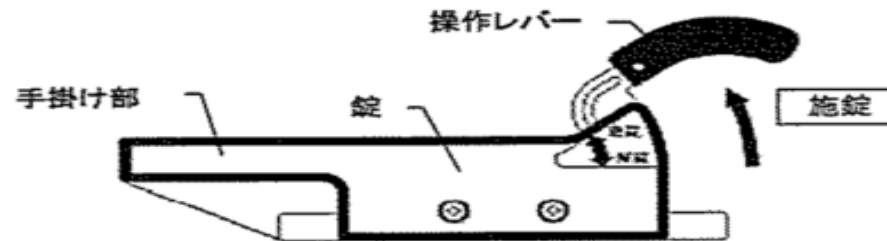
■閉める場合

手掛け部をゆっくりと引き下げてください。
※10~20kgf程度の力で操作可能です。
(シャッターのサイズにより異なります)

◆錠の操作方法

①施錠方法

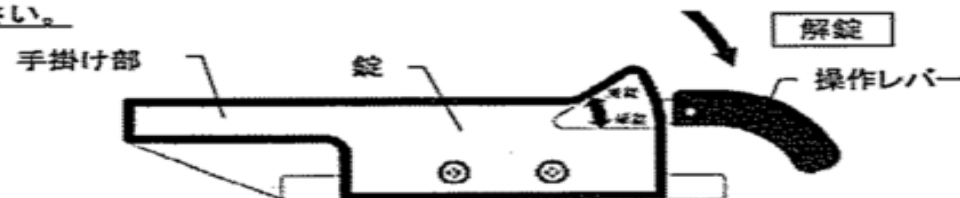
シャッターが全閉状態の時、操作レバーを上げると施錠します。



- ・シャッターが全閉状態にないと施錠はできません。
- ・操作レバーは止まるまで上に上げてください、途中では施錠できません。
- ・本製品は電動開閉ですが、錠は自動的に施錠されません。

②解錠方法

操作レバーを下まで下げると解錠します。シャッターの開閉操作をする時は、かならず解錠状態にしてください。



電動シャッター 手動開閉操作方法(三和シャッター製)

■年代:2009～現在

※閉まった状態、および作動中で停電した場合、シャッターは手動で動かすことができます。

■開ける場合

錠が解錠状態になっていることを確認して、手掛け部をゆっくりと引き上げてください。

10～20kgf程度の力で操作可能です。

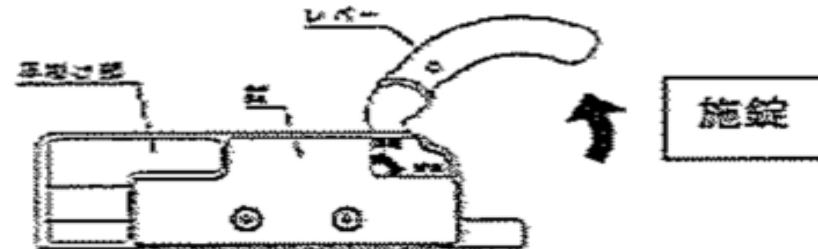
■閉める場合

手掛け部をゆっくりと引き下げてください。

※10～20kgf程度の力で操作可能です。
(シャッターのサイズにより異なります)

①施錠方法

シャッターを全閉状態にし、操作レバーを止まるまで上げると施錠します。



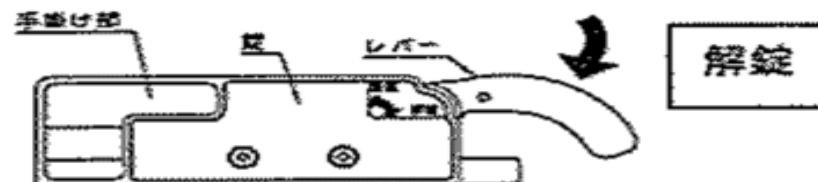
※全閉状態以外は施錠できません。

※錠は自動的に施錠されません。

②解錠方法

操作レバーを下まで下げると解錠します。

※シャッターの開閉操作をする時は、必ず解錠状態にしてください。



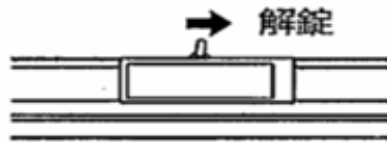
電動シャッター 手動開閉操作方法(文化シャッター製)

■年代: ~現在

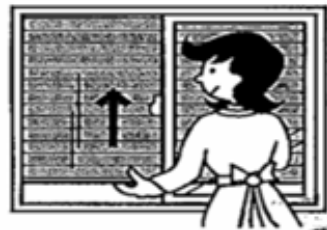
※作動中で停電した場合、シャッターは手動で動かすことができますが、閉まった状態では解錠する必要があります。

■開ける場合

- 1 レバーを解錠の方向に動かして幅木を少し持ち上げると解錠します。
※その後はレバーから手を放して操作できます。



- 2 幅木の中央付近を持ってゆっくりと一定の早さで持ち上げてください。



※電動式窓シャッターの手動操作は、モーターと一緒に回します。ゆっくりと一定の早さで操作しないと、開閉操作が重くなります。

■閉める場合

- 1 幅木の中央付近を持ってゆっくりと一定の早さで降ろしてください。



※一定の早さ以上で操作すると、モーターが一時的にロックされます。この場合はシャッターから一旦手を放し、再度ゆっくりと下げてください。

- 2 幅木が下まできたらやや強めに降ろしてください。自動で施錠されます。